

再生した荒廃農地での営農活動を下支えするための太陽光発電



<概要>

- 事業実施主体：株式会社 J A アグリはくい（石川県羽咋市）
はくいし
- 発電設備：太陽光発電
 - 発電出力 2,000 kW
 - 発電電力量 200 万kWh/年
 - 発電事業用地面積 3.2 ha
- 建設費：約6億1千万円（造成費含む）
- 運転開始時期：平成27年12月

<特徴>

- 世界農業遺産「能登の里山里海」の玄関口に位置する石川県羽咋市の滝地区は、農地の多くが耕作されず荒廃。そこで、石川県、羽咋市、J A はくい、地元の地権者が協議、調整し、荒廃農地の再生に取り組むこととしたところ。
- 再生利用可能なほとんどの農地をほ場整備事業で大区画に整備するとともに、農地中間管理機構を活用して再生農地を（株）J A アグリはくい等を集積。さらに、営農の妨げとならない位置に太陽光発電設備を設置。
- 売電収入は、農業経営に係る経費など、当地区における営農活動の下支えとして活用する予定。



発電施設の外観



再生した農地での営農の様子（肥料散布）

※農山漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業（H26）において発電事業構想の作成等を支援